

CE680/CE690

日本語版ユーザーマニュアル



本ドキュメントについて

本書はATENジャパン株式会社において、CE680/CE690 取り扱いの便宜を図るため、英語版ユーザーマニュアルをローカライズしたドキュメントです。

製品情報、仕様はソフトウェア・ハードウェアを含め、予告無く変更されることがあり、本日本語版ユーザーマニュアルの内容は、必ずしも最新の内容でない場合があります。また製品の不要輻射仕様、各種安全規格、含有物質についての表示も便宜的に翻訳して記載していますが、本書はその内容について保証するものではありません。

製品をお使いになるときは、英語版ユーザーマニュアルにも目を通し、その取扱方法に従い、正しく運用を行ってください。詳細な製品仕様については英語版ユーザーマニュアルの他、製品をお買い上げになった販売店または弊社テクニカルサポート窓口までお問い合わせください。

ATEN ジャパン株式会社

技術部

TEL :03-5615-5811

MAIL :support@atenjapan.jp

2015年4月16日

ユーザーの皆様へ

本マニュアルに記載された全ての情報、ドキュメンテーション、および製品仕様は、製造元である ATEN International により、予告無く変更されることがあります。製造元 ATEN International は、製品および本ドキュメントに関して、品質・機能・商品性および特定の目的に対する適合性について、法定上の、明示的または黙示的であるかを問わず、いかなる保証もいたしません。

弊社製品は一般的なコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を必ずしも満たすものではございません。

キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。

本製品および付属のソフトウェア、ドキュメントの使用によって発生した装置の破損・データの損失等の損害に関して、直接的・間接的・特殊な事例・付帯的または必然的であるかを問わず、弊社の損害賠償責任は本製品の代金相当額を超えないものとします。

製品をお使いになる際には、製品仕様に沿った適切な環境、特に電源仕様についてはご注意のうえ、正しくお使いください。

ATEN ジャパン製品保証規定

弊社の規定する標準製品保証は、定められた期間内に発生した製品の不具合に対して、すべてを無条件で保証するものではありません。製品保証を受けるためには、この『製品保証規定』およびユーザーマニュアルをお読みになり、記載された使用法および使用上の各種注意をお守りください。

また製品保証期間内であっても、次に挙げる例に該当する場合は製品保証の適用外となり、有償による修理対応といたしますのでご注意ください。

- ◆ 使用上の誤りによるもの
- ◆ 製品ご購入後の輸送中に発生した事故等によるもの
- ◆ ユーザーの手による修理または故意の改造が加えられたもの
- ◆ 購入日の証明ができず、製品に貼付されている銘板のシリアルナンバーも確認できないもの
- ◆ 車両、船舶、鉄道、航空機などに搭載されたもの
- ◆ 火災、地震、水害、落雷、その他天変地異、公害、戦争、テロリズム等の予期しない災害によって故障、破損したもの
- ◆ 日本国外で使用されたもの
- ◆ 日本国外で購入されたもの

【製品保証手順】

弊社の製品保証規定に従いユーザーが保証を申請する場合は、大変お手数ですが、以下の手順に従って弊社宛に連絡を行ってください。

(1) 不具合の確認

製品に不具合の疑いが発見された場合は、購入した販売店または弊社サポート窓口にご連絡の上、製品の状態を確認してください。この際、不具合の確認のため動作検証のご協力をお願いすることがあります。

(2) 本規定に基づく製品保証のご依頼

(1)に従い確認した結果、製品に不具合が認められた場合は、本規定に基づき製品保証対応を行います。製品保証対応のご依頼をされる場合は、RMA 申請フォームの必要項目にご記入の上、『お客様の製品購入日が証明できる書類』を用意して、購入した販売店までご連絡ください。販売店が不明な場合は、弊社までお問い合わせください。

(3) 製品の発送

不具合製品の発送は宅配便などの送付状の控えが残る方法で送付してください。

【製品保証期間】

製品保証期間は通常製品/液晶ディスプレイ搭載製品で異なります。詳細は下記をご覧ください。

①通常製品	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～3年間	無償修理
	3年以上	有償修理※2
②液晶ディスプレイ搭載製品	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～2年間	無償修理
	2年以上	有償修理※2

※1…製品購入日から30日以内に確認された不具合は初期不良とし、新品交換を行います。初期不良の場合の送料は往復弊社にて負担いたします。

※2…有償修理の金額は別途製品を購入された販売店までお問い合わせください。

※ケーブル類、その他レールキット等のアクセサリ類は初期不良の際の新品交換のみ、承ります。

※EOL (生産終了)が確定した製品については、初期不良であっても無償修理対応とさせていただきます。また EOL 製品の修理に関して、上記無償修理期間中であっても、部材調達の都合等により修理不可になる可能性がございます。そのような場合には、機能同等品による良品交換のご対応となる可能性がございます。

【補足】

- 本規定は ATEN 製品に限り適用します。
- ケーブル類は初期不良対応に準じます。
- 初期不良による新品交換の場合は、ATEN より発送した代替品の到着後、5 営業日以内に不具合品を弊社宛に返却してください。返却の予定期日が守られない場合は弊社から督促を行います。それにも係わらず不具合品が返却されない場合は、代替機相当金を販売代理店経由でご請求いたします。
- ラベルの汚損や剥がれなどにより製品のシリアルナンバーが確認できない場合は、すべて有償修理とさせていただきます。

【免責事項】

1. 弊社製品は一般的なコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を、必ずしも満たすものではございません。
2. キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。
3. 他社製品のKVMスイッチ、キーボード・マウスコンバーター、キーボード・マウスエミュレーター、KVM エクステンダー等との組み合わせはサポート対象外となりますが、お客様で自己検証の上であれば、使用を制限するものではありません。
4. 製品に対しての保証は、日本国内で使用されている場合のみ対象とさせていただきます。
5. 製品やサービスについてご不明な点がある場合は、弊社技術部門までお問い合わせください。

製品についてのお問い合わせ

製品の仕様や使い方についてのお問い合わせは、下記窓口または製品をお買い上げになった販売店までご連絡ください。

購入前のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 営業部 TEL:03-5615-5810 MAIL:sales@atenjapan.jp
購入後のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 技術部 TEL :03-5615-5811 MAIL :support@atenjapan.jp

目次

ユーザーの皆様へ	i
ATEN ジャパン製品保証規定	ii
製品についてのお問い合わせ	v
EMC 情報	3
RoHS.....	3
SJ/T 11364-2006	4
安全にお使い頂くために.....	5
全般	5
ラックマウント	7
同梱品.....	8
本マニュアルについて.....	9
マニュアル表記について.....	10
第1章 はじめに.....	11
概要	11
特長	12
システム要件.....	13
コンソール.....	13
コンピューター	13
ケーブル	13
OS.....	14
製品各部名称	15
CE680L/CE690L(ローカルユニット) フロントパネル	15
CE680R/CE690R(リモートユニット) フロントパネル	16
CE680/CE690(ローカル/リモートユニット) リアパネル.....	17
第2章 セットアップ方法.....	18
ラックへの取り付け.....	18
セットアップ	19
KVM 機能.....	19
RS-232 機能	20
タッチパネル機能.....	20
接続図	21

第3章 操作方法.....	23
手動操作.....	23
操作モード.....	23
モード選択.....	24
LED 表示	25
CE680L/CE690L (ローカルユニット)	25
CE680R/CE690R (リモートユニット)	25
ファームウェアアップグレード	26
PC の起動	26
ホットキーセッティングモード	27
ホットキーセッティングモードの起動	27
ホットキーセッティングモードの代替起動キー	28
キーボード操作プラットフォーム	29
ホットキーセッティングモード一覧表	30
第4章 キーボードエミュレーション	31
Mac キーボード.....	31
Sun キーボード	32
第7章 ファームウェアアップグレード ユーティリティ	33
はじめに.....	33
アップグレード方法.....	33
シングルユニットモード	34
ローカル/リモートモード.....	38
アップグレード成功.....	40
アップグレード失敗.....	41
付録.....	42
製品仕様.....	42

EMC 情報

FCC(連邦通信委員会)電波干渉声明

本製品は、FCC(米国連邦通信委員会)規則の Part15 に準拠したデジタル装置 Class A の制限事項を満たして設計され、検査されています。この制限事項は、商業目的の使用において、有害な障害が発生しないよう、基準に沿った保護を提供する為のものです。この操作マニュアルに従わずに使用した場合、本製品から発生するラジオ周波数により、他の通信機器に影響を与える可能性があります。また、本製品を一般住宅地域で使用した場合、有害な電波障害を引き起こす可能性もあります。その際には、ユーザーご自身の負担で、その障害を取り除いてください。

本製品は、FCC(米国連邦通信委員会)規則の Part15 のデジタル装置 Class A の規定に準拠しています。動作は次の2つの条件を前提としています。(1)本製品による有害な干渉が発生しない。(2)本製品は、予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信した干渉をすべて受け入れる。

FCC による注意:本コンプライアンスに対する責任者による明確な承認を得ていない変更または改良を行った場合は、ユーザーの本装置を操作する権利を無効とします。

CE による注意:本製品は Class A に準拠した製品です。本製品をご家庭で使用した場合、電波干渉を引き起こす可能性があります。その際は、ユーザーご自身にて、適切な処置を行ってください。

RoHS

本製品は『電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する欧州議会及び理事会指令』、通称 RoHS 指令に準拠しております。



SJ/T 11364-2006

The following contains information that relates to China.

部件名称	有毒有害物质或元素					
	铅	汞	镉	六价铬	多溴联苯	多溴二苯醚
电器部件	●	○	○	○	○	○
机构部件	○	○	○	○	○	○

- : 表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在SJ/T 11363-2006规定的限量要求之下。
- : 表示符合欧盟的豁免条款, 但该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T 11363-2006的限量要求。
- ×: 表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T 11363-2006的限量要求。

安全にお使い頂くために

全般

- ◆ 製品に同梱されるドキュメントは全てお読みください。またドキュメント類は全て保存してください。また、弊社 Web サイトに掲載のオンラインユーザーマニュアルもご確認ください。
- ◆ 製品に関する注意・説明に従って取り扱ってください。
- ◆ 本製品は、屋内での使用に限ります。
- ◆ 落下による事故・製品の破損を防ぐため、設置場所は不安定な面(台車、簡易的なスタンドやテーブル等)を避けるようにしてください。
- ◆ 製品が水に濡れるおそれのあるような場所で使用しないでください。
- ◆ 製品は熱源の近く、またはその熱源の上などで使用しないでください。
- ◆ 製品のケースには必要に応じて通気口が設けられています。通気口のある製品は、安定した運用を行うため、また製品の過熱を防ぐために、開口部を塞いだり覆ったりしないでください。
- ◆ 製品をベッドやソファ、ラグなどの柔らかいものの上に置かないでください。開口部が塞がれ、適切な通気が確保できずに製品が過熱する恐れがあります。
- ◆ 製品にいかなる液体もかからないようにしてください。
- ◆ 電源プラグを電源コンセントから抜く場合は、乾いた雑巾でプラグ周りのホコリを掃除してください。液体やスプレー式のクリーナーは使用しないでください。
- ◆ 製品はラベルに記載されたタイプの電源に接続して運用してください。電源タイプについて不明な場合は、購入された販売店もしくは電気事業者にお問い合わせください。
- ◆ お使いの装置への損傷を避けるためにも、すべての装置を適切に接地するようにしてください。
- ◆ 電源コンセントの形状が異なり、製品付属の電源アダプターを接続できない場合には電気事業者にお問い合わせで適切に処置してください。アース極を無理に使用できない状態にしないでください。使用される国/地域の電源形状に従ってください。
- ◆ 電源コードやケーブルの上に物を置かないでください。人が通行するような場所避けて電源コードを設置してください。
- ◆ 電源の延長コードや電源タップを使用する場合は、合計容量とコードまたはタップの仕様が適合していることを確認してください。電源コンセントにつながれている製品全ての合計アンペア数は 15 アンペアを超えないようにしてください。
- ◆ 突然の供給電力不安定や電力過剰・電力不足からお使いのシステムを守るために、サージサプレッサー、ラインコンディショナー、または無停電電源装置(UPS)をご使用ください。
- ◆ システムケーブルや電源ケーブルは丁寧に取り扱いってください。これらのケーブル類の上には何も置かないようにしてください。

- ◆ 危険な電圧ポイントへの接触やショートによって、発火したり感電したりするおそれがありますので、キャビネットのスロットには何も挿入しないでください。
- ◆ 装置をご自身で修理せず、ご不明な点がございましたら技術サポートまでご相談ください。
- ◆ 下記の現象が発生した場合、コンセントをはずして技術サポートに修理を依頼してください。
 - 電源コードが破損した。
 - 装置の上に液体をこぼした。
 - 装置が雨や水にぬれた。
 - 装置を誤って落下させた、ないしはキャビネットが破損した。
 - 装置の動作に異変が見られる。(修理が必要です)
 - 製品マニュアルに従って操作しているにもかかわらず、正常に動作しない。
- ◆ 修理が必要となる故障が発生するおそれがありますので、製品マニュアルに従って操作してください。

ラックマウント

- ◆ ラックでの作業を始める前に、スタビライザーがラックに固定され床に接していること、また、ラック全体が安定した場所に置かれていることを確認してください。作業する前に、シングルラックにフロントとサイドのスタビライザーを取り付けるか、結合された複数のラックにフロントスタビライザーを取り付けてください。
- ◆ ラックには下から上に向かって、一番重いアイテムから順番に取り付けてください。
- ◆ デバイスを拡張する前にラックが水平で安定していることを確認してください。
- ◆ ラックに供給する AC 電源の分岐回路が過剰供給にならないようご注意ください。ラック全体の電源負荷は分岐回路の 80%を越えないように設定する必要があります。
- ◆ ラックにマウントされたデバイスは、電源タップも含め、すべて正しく接地されていることを確認してください。
- ◆ ラックへの通気を十分に確保してください。
- ◆ 本製品で定められている保管温度を超えないように、ラックが設置されている場所の室温を調節してください。
- ◆ ラックに設置されているデバイスが動作している際に、デバイスを踏んだりデバイスによじ登ったりしないでください。

同梱品

CE680/CE690 製品パッケージには下記のアイテムが同梱されています。

- ◆ CE680L/CE690L 光ファイバーKVM エクステンダー(ローカルユニット) ×1
- ◆ CE680R/CE690R 光ファイバーKVM エクステンダー(リモートユニット) ×1
- ◆ 2L-7D02U(1.8m)ケーブル ×1
- ◆ USB ケーブル(1.8m) ×1
- ◆ 電源アダプター ×2
- ◆ ラックマウントキット ×1
- ◆ 多言語版クイックスタートガイド* ×1

上記のアイテムがそろっているかご確認ください。万が一、欠品または破損品があった場合はお買い上げになった販売店までご連絡ください。

本ユーザーマニュアルをよくお読みいただき、正しい使用方法により、本製品および接続する機器を安全にお使いください。

* 本マニュアルの公開後に、製品仕様が追加される場合があります。最新版は弊社 Web サイトにアクセスしてご確認ください。

本マニュアルについて

このユーザーマニュアルは、CE680/CE690 に関する情報や使用法について説明しており、取り付け・セットアップ方法、操作方法のすべてを提供します。

マニュアル構成は下記のようになっています。

第1章 はじめに: CE680/CE690 を紹介します。特長および機能の概要および製品各部名称について説明します。

第2章 セットアップ方法: CE680/CE690 を素早くかつ安全にセットアップする手順について説明します。

第3章 操作方法: CE680/CE690 の操作方法について説明します。

第4章 キーボードエミュレーション: Mac キーボード・Sun キーボードの各エミュレーションについて対応表を用いて説明します。

第5章 ファームウェアアップグレードユーティリティ: お使いの CE680/CE690 のファームウェアを最新のバージョンにアップグレードする方法について説明します。

付録 製品の仕様および関連する技術情報や操作方法について説明します。

マニュアル表記について

[] 入力するキーを示します。例えば[Enter]は**エンター**キーを押します。複数のキーを同時に押す場合は、[Ctrl + Alt]のように表記してあります。

1. 番号が付けられている場合は、番号に従って操作を行ってください。

◆ ◆印は情報を示しますが、作業の手順を意味するものではありません。

→ 矢印は操作の手順を示します。例えばStart → Runはスタートメニューを開き、Runを選択することを意味します。



重要な情報を示しています。

※本マニュアルに記載されている商品名・会社名等は、各社の商標ならびに登録商標です。

第1章 はじめに

概要

CE680/CE690 光ファイバーKVM エクステンダーは、高精細オーディオ・ビデオ・制御信号の長距離伝送に光ファイバーケーブルを使用することで、標準的なDVIケーブルの延長距離の制限を解消できる製品です。本製品は、ローカル側の入力機器のオーディオ・ビデオストリームを受信し、1本の3.125Gbps 光リンク(最大解像度は1920×1200@60Hz、24-bit)で通信されたデータを同期します。

CE680/CE690 はまた、キーボード・マウスの遠隔操作信号だけでなく、RS-232 信号(最大115kbps)も延長し、双方向通信を行うことができますので、バーコードスキャナーなどのシリアル機器を接続した使用も可能です。ローカルおよびリモートの各ユニットにある USB ポートに USB タッチパネルを接続して、ここからローカル側に接続されたコンピューターにアクセスすることができます。さらに、CE680/CE690 はタッチパネル対応であるため、10 ポイントのマルチタッチ対応機器のようなマルチポイント機器を利用することができます。これは、頻繁に通信を行うインタラクティブなアプリケーションを扱う際に便利です。

CE680/CE690 を使用すると、ローカルとリモートの両方のコンソール(USB キーボード・USB マウス・モニター)からコンピューターシステムにアクセスすることができます。このため、コンソールは便利な場所に置く一方、コンピューターシステムは例えば、埃などが多い工場現場や建設現場といった過酷な環境から離れた安全な場所に置くという要件であれば、CE680/CE690 は、どのような場所にもセットアップすることができます。

さらに、CE680/CE690 はローカルとリモートのユニット間の接続に光ファイバーケーブルの技術を用いていますので、セットアップや DVI 信号の長距離延長が簡単かつスピーディーに行えます。本製品はまた、8KV/15KV 静電放電防止機能を搭載しています。

セットアップは、ローカルユニットにコンピューターを接続したら、ローカルユニットから最長600m/20km の光ファイバーケーブルでリモートユニットに接続し、最後にリモートユニットにリモートコンソールを接続するだけなので、とても簡単です。

特長

- ◆ ローカル・リモートコンソールからコンピューターまたは KVM スイッチにアクセス可能
- ◆ DVI-D インターフェースおよび DVI シングルリンク信号対応
- ◆ 解像度 - 1,920×1,200@60Hz(24-bits)、長距離の延長(CE680は最大600m、CE690は最大20km)でも高品質で鮮明な画像の出力が可能
- ◆ デュアルコンソール操作対応 - ローカルおよびリモートコンソール(USB キーボード・マウス・モニター)からコンピューターの操作が可能
- ◆ 操作モードはプッシュボタンで選択可能 - ボタンひとつで、ローカルコンソールからコンピューターと KVM のどちらを使うか選択
- ◆ タッチパネル対応 - 10 ポイントマルチタッチデバイスを含むタッチパネルを接続して、高度な双方向通信の用途に対応(ドライバー不要)
- ◆ 簡単セットアップ - ソフトウェア不要。必要となる作業はケーブルを使用機器に接続するだけ
- ◆ 光ファイバーケーブル 1 本で、ローカルとリモートユニットを接続
- ◆ コンパクトで小さいホットプラグ対応の光ファイバーモジュールを使用
- ◆ HDCP 準拠
- ◆ 640×480～1920×1,200@60Hz の標準的な解像度に対応
- ◆ 一般的なワイド画面解像度対応
- ◆ 8KV/15KV 静電放電防止機能搭載(接触電圧 8KV、空中電圧 15KV)
- ◆ RS-232 ポート搭載 - ターミナルデバイスやバーコードスキャナーのようなシリアルデバイスを接続可能(ボーレート 115200bps)
- ◆ PC ウェイクアップ対応 - リモートユニットにあるプッシュボタンを押すことで、RS-232 経由でローカル側にある PC の起動が可能
- ◆ オーディオ対応 - ステレオスピーカーおよびマイクロフォン対応
- ◆ ファームウェアアップグレード対応
- ◆ ラックマウント対応
- ◆ ホットプラグ対応

システム要件

コンソール

- ◆ 接続するコンピューターの最高解像度に対応するシングルリンク DVI 対応モニター
- ◆ USB キーボード
- ◆ USB マウス
- ◆ ステレオマイクロフォンおよびステレオスピーカー (オプション)
- ◆ USB タッチパネル機器 (オプション)

コンピューター

システムに接続する各コンピューターには以下のハードウェア環境が必要です。

- ◆ DVI ポート
- ◆ マウスとキーボード用の USB ポート×1
- ◆ マイクロフォンおよびスピーカーポート (オプション)
- ◆ タッチパネル機器用の USB ポート×1

ケーブル

- ◆ 信号の整合性を最適にし、配置を簡単にするためにも、本製品に同梱されている高品質の専用 KVM ケーブルの使用を推奨します。
- ◆ CE680/CE690 のトランスミッターとレシーバーを接続する光ファイバーケーブル (LC、シングルモード)

注意: IEC 60793-2-50 B1.1 または ITU-T G.652.B の仕様に適合したシングルモードの光ファイバーケーブルの使用を推奨します。

- ◆ CE680/CE690 のハイエンドシリアルコントローラー機能を使用する場合は、適切な RS-232 ケーブルをご用意ください。

ケーブル最長延長距離

接続	最長延長距離
コンピューターからローカルユニット(CE680L/CE690L)まで	5m
ローカルユニット(CE680L/CE690L)からリモートユニット(CE680R/CE690R)まで	600m(CE680) 20km(CE690)
リモートユニット(CE680R/CE690R)からモニターまで	5m

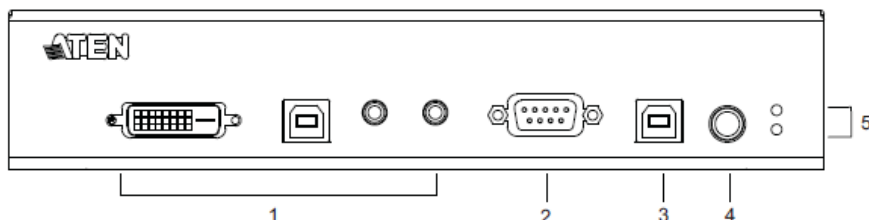
OS

対応する OS は下表の通りです。

OS		バージョン
Windows		2000、2003、2008、XP、Vista、7
Linux	RedHat	9.0 以降
	SuSE	10 / 11.1 以降
	Debian	3.1 / 4.0
	Ubuntu	7.04 / 7.10
UNIX	FreeBSD	5.5 / 6.1 / 6.2
Novell	Netware	6.0 以降

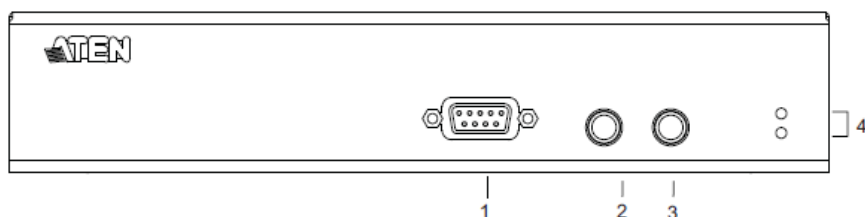
製品各部名称

CE680L/CE690L(ローカルユニット) フロントパネル



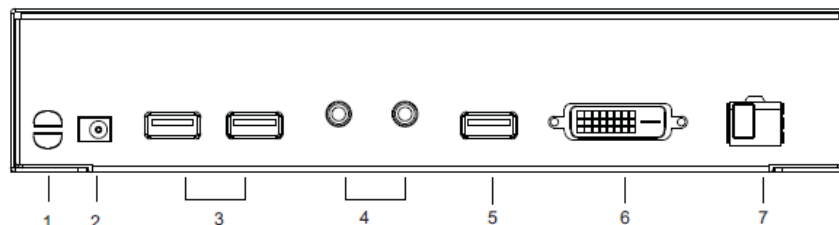
No.	名称	説明
1	KVM ポート	<p>製品に同梱されている KVM ケーブルを使用して接続します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ DVI 入力ポート: お使いのコンピューターに接続された KVM ケーブルの DVI コネクタを、このポートに接続します。 ◆ USB ポート(キーボード/マウス用): お使いのコンピューターに接続された KVM ケーブルの USB タイプ B コネクタを、このポートに接続します。 ◆ オーディオポート(スピーカー/マイク): これらのミニステレオポートには、お使いのコンピューターに接続された KVM ケーブルのスピーカー用コネクタ(グリーン)とマイクロフォン用コネクタ(ピンク)を接続します。
2	RS-232 シリアルポート	お使いのコンピューターに接続された RS-232 ケーブルを、このポートに接続します。
3	USB タイプ B ポート	タッチパネル機器を使用する場合は、お使いのコンピューターに接続された USB ケーブルを、このポートに接続します。
4	操作モード プッシュボタン	<p>Auto(オート)/Local(ローカル)プッシュボタンは、ローカルコンソール側で利用できる操作モードを交互に切り替えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ Auto - ローカルとリモートの両方のコンソールからシステムを操作できます。 ◆ Local - ローカルコンソールだけがシステムを操作できます。 <p>デフォルトの操作モードは「Auto」です。</p> <p>このボタンを使うと、ファームウェアアップグレードモードを有効にすることもできます。電源をリセットしてファームウェアアップグレードを進めてください。詳細については、p.33 を参照してください。</p>
5	LED	動作状況を表す LED が 2 つ内蔵されています。詳細については、p.25 を参照してください。

CE680R/CE690R(リモートユニット) フロントパネル



No.	名称	説明
1	RS-232 シリアルポート	バーコードスキャナーなどの RS-232 シリアル機器を、このポートに接続します。
2	PC 起動 プッシュボタン	RS-232 ポートを介してローカル側からコンピューターを起動する場合は、このボタンを押します。 詳細については、p.26 を参照してください。
3	操作モード プッシュボタン	Auto (オート) / Remote (リモート) プッシュボタンは、リモートコンソール側で利用できる操作モードを交互に切り替えます。 ◆ Auto - ローカルとリモートの両方のコンソールからシステムを操作できます。 ◆ Remote - リモートコンソールだけがシステムを操作できます。 デフォルトの操作モードは「Auto」です。 このボタンを使うと、ファームウェアアップグレードモードを有効にすることもできます。電源をリセットしてファームウェアアップグレードを進めてください。詳細については、p.33 を参照してください。
4	LED	動作状況を表す LED が 2 つ内蔵されています。詳細については、p.25 を参照してください。

CE680/CE690(ローカル/リモートユニット) リアパネル



No.	名称	説明
1	ケーブルタイスロット	ケーブルタイを使ってケーブルをまとめた場合は、このスロットをお使いください。
2	電源ジャック	電源アダプターのケーブルを接続するジャックです。
3	USB ポート (キーボード/マウス用)	お使いのキーボード/マウスの USB ケーブルを、ここに接続します。
4	オーディオポート (スピーカー/マイク用)	これらのミニステレオポートには、スピーカー(グリーン)とマイククロフォン(ピンク)を接続します。
5	USB ポート (タッチパネル用)	このポートには USB タッチパネル機器を接続します。 注意: このポートには、ジェネリックのタッチパネル機器(ドライバーのインストール不要)にのみ対応しています。
6	DVI 出力ポート	この DVI ポートには互換性のあるモニターを接続します。
7	光入力/出力ポート	ローカルとリモートの各ユニットに接続された光ファイバーケーブルを、ここに接続します。 光ファイバーモジュールには、次の色分けがしてあります。 ◆ CE680L - ブルー ◆ CE680R - イエロー ◆ CE690L - パープル ◆ CE690R - ホワイト

第2章 セットアップ方法

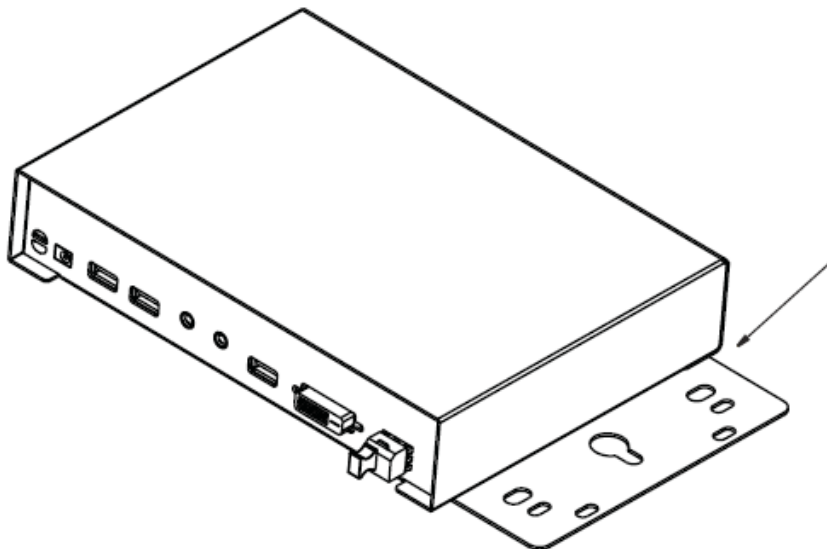


1. 機器の設置に際し重要な情報を p.5 に記載しています。作業の前に、必ず目を通してください。
2. 今から接続する装置すべての電源がオフになっていることを確認してください。コンピューターにキーボード起動機能がついている場合は、ここから電源ケーブルも抜いてください。

ラックへの取り付け

CE680/CE690 は利便性と柔軟性を考慮して、システムラックへの取り付けに対応しています。本製品をラックへ取り付けるには、下記の手順に従ってください。

1. ラックマウントキットに同梱されているネジを使用して、下図のように本製品の底面にマウント用の金具をネジ止めしてください。



2. 手順1で取り付けした金具をラックの適当な場所にネジ止めしてください。

注意: ラックマウント用のビスとケージナットは本製品に付属していないため、別途、ご用意ください。

セットアップ

CE680/CE690 のセットアップに必要な作業は、ケーブルの接続だけです。接続するデバイスの電源がすべて切られていることを確認してください。そして、p.21 にある接続図(図内における番号は手順に対応)を参考にしながら、下記の手順でセットアップを行ってください。

KVM 機能

手順 1~6 は、お使いの CE680/CE690 をセットアップし、基本的な KVM 機能を使えるようにするための初期手順です。

1. 本製品に同梱されている KVM ケーブルのコネクターを、ローカルユニット(CE680L/CE690L)の適切なポートにそれぞれ接続してください。
2. 手順 1 で使用した KVM ケーブルの反対側の端にあるコネクターを、ローカルコンピューターの適切なポートにそれぞれ接続してください。各コネクターには、接続するデバイスがアイコンで示されています。

注意: CE680/CE690 を KVM スイッチに接続して使用する場合は、KVM ケーブルのコネクターを KVM スイッチの適切なポートに接続してください。

3. 光ファイバーケーブル(LC、シングルモード)を、CE680L(ブラウン)/CE680R(イエロー)/CE690L(パープル)/CE690R(ホワイト)の光入力/出力ポートに接続して、ローカルユニットとリモートユニットを接続してください。
4. ローカルコンソールで使用するデバイス(マウス、キーボード、モニター、スピーカー、マイク)を、CE680L/CE690L のリアパネルにある適切なポートに接続してください。
5. リモートコンソールで使用するデバイス(マウス、キーボード、モニター、スピーカー、マイク)を、CE680R/CE690R のリアパネルにある適切なポートに接続してください。
6. (本製品に同梱の)電源アダプターをそれぞれ電源コンセントに接続したら、そのアダプターの電源ケーブル部分を CE680L/CE690L と CE680R/CE690R の電源ジャックに接続してください。

RS-232 機能

手順 7～8 は、お使いの機器構成にターミナルデバイス、またはその他のシリアル機器を組み込んで使用する際に必要となる作業です。その場合は、次の手順にしたがってセットアップを行ってください。

7. (オプション)シリアル機器を制御する場合、また PC 起動機能を使用する場合 (p.26 参照)は、ローカルコンピューターをローカルユニットの **RS-232 シリアルポート** に接続してください。
8. (オプション)ハードウェア/ソフトウェアコントローラーを、リモートユニットの **RS-232 シリアルポート** に接続してください。

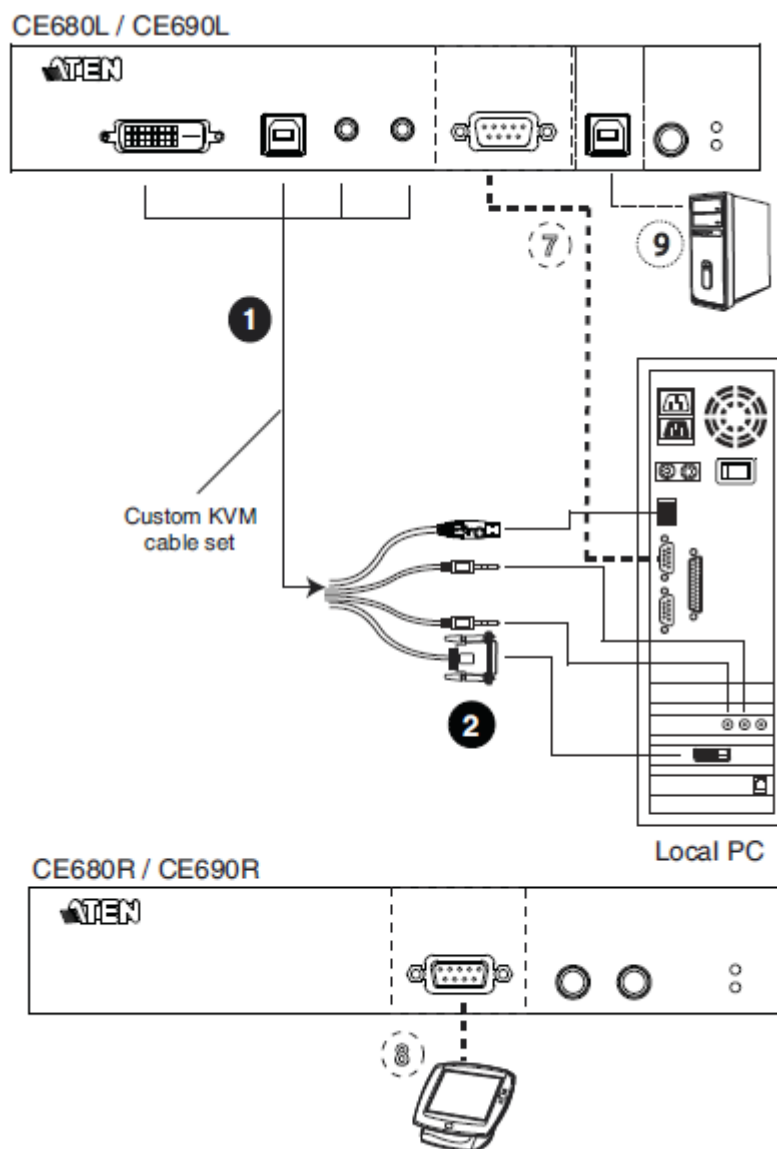
タッチパネル機能

手順 9～10 は、お使いの機器構成にタッチパネル機器を組み込んで使用したり管理したりする際に必要となる作業です。その場合は、次の手順にしたがってセットアップを行ってください。

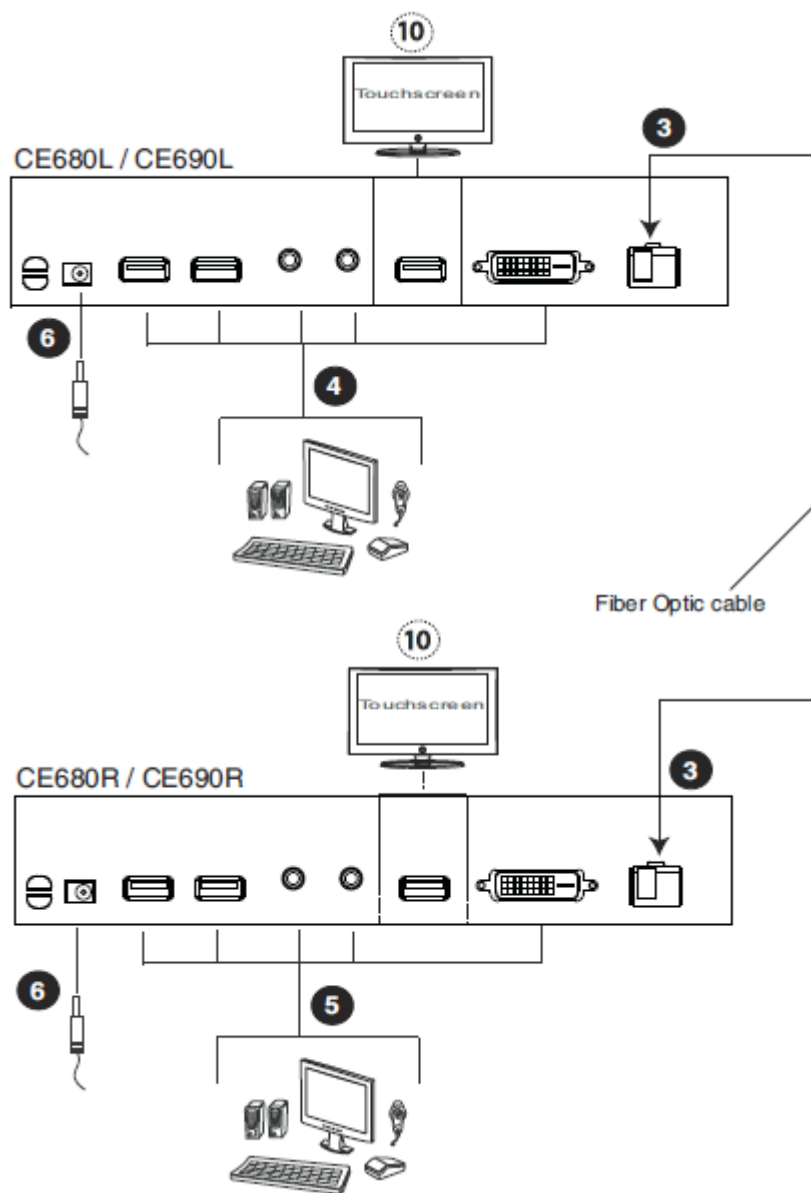
9. (オプション)タッチパネル機器を制御する場合は、CE680L/CE690L のフロントパネルにある **USB タイプ B** ポートに接続してください。
10. (オプション)お使いのタッチパネル機器を、CE680L/CE690L および CE680R/CE690R のリアパネルにある **USB タイプ A** ポートに接続してください。

接続図

フロント側



リア側



注意: CE680L/CE690L のシリアルポートはコンピューターに接続し、CE680R/CE690R のシリアルポートはシリアルデバイスに接続します(オプション)。

第3章 操作方法

手動操作

CE680/CE690 は、ユニットのフロントパネルにあるプッシュボタンを操作することで便利に操作することができます。

操作モードプッシュボタンを押して操作モード (p.24 参照) を選択してください。リモートユニットには、ローカル側の PC を起動するためのボタンが設けられています (p.26 参照)。そして、フロントパネルには LED があり、動作状況を表示します (p.27 参照)。

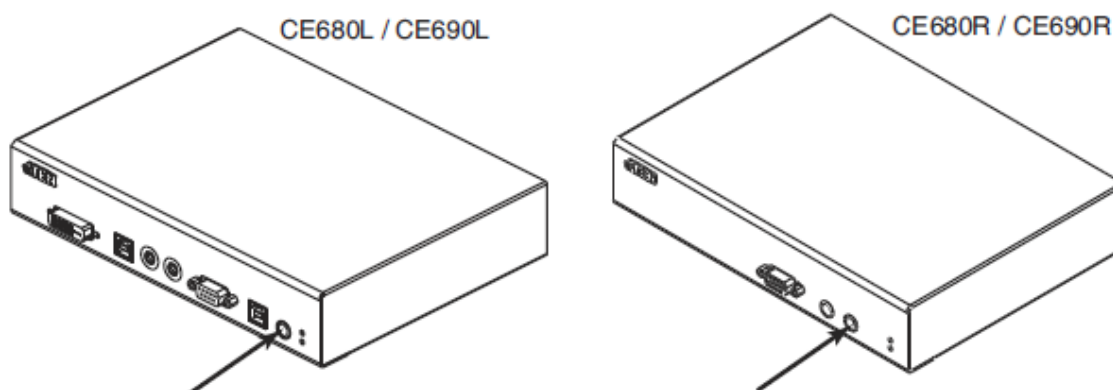
操作モード

CE680/CE690 には、下表のように「ローカル」、「オート」、「リモート」といった 3 つの操作モードがあります。

モード	説明
ローカル	ローカルコンソールだけが KVM にアクセスすることができます。このとき、リモートコンソールのキーボードとマウスからの入力は無効です。
オート	ローカルとリモートの両方のコンソールから KVM にアクセスすることができますが、一度にアクセスできるのは片方だけです。アクセスしていないコンソールは、アクセス中のコンソールからの入力が終わって、はじめてアクセスすることができます。デフォルトの操作モードは、オートに設定されています。
リモート	リモートコンソールだけが KVM にアクセスすることができます。CE680L/CE690L がオートモードに設定されており、なおかつローカルコンソールがアイドル状態になったときのみ、リモートモードになります。

モード選択

各ユニットのフロントパネルにある操作モード選択スイッチは、光ファイバーKVM エクステンダーの操作モードを制御します。このスイッチを押すと、操作モードを次のように交互に切り替えます。



スイッチ	動作
ローカル (CE680L/CE690L) 操作モードプッシュボタン	オートとローカルを交互に切り替えます。ローカルモードでは、ローカルコンソールだけが、キーボードとマウスを使ってアクセスしたり、コンピューター(または KVM スイッチ配下にあるコンピューター)を操作したりできる権限を持っています。
リモート (CE680R/CE690R) 操作モードプッシュボタン	オートとリモートを交互に切り替えます。リモートモードでは、リモートコンソールだけが、キーボードとマウスを使ってアクセスしたり、コンピューター(または KVM スイッチ配下にあるコンピューター)を操作したりできる権限を持っています。

システムが**ローカル**モードの場合、リモートユニット側の選択スイッチは機能しません。このボタンへの操作は無効で、リモートユーザーは操作を行うことができません。リモート側の選択スイッチは、ローカル側の選択スイッチが押されてシステムがオートモードになった時に、はじめて有効になります。

同様に、システムが**リモート**モードの場合、ローカルユニット側の選択スイッチは機能しませんので、ローカルユーザーは操作を行うことができません。ローカル側の選択スイッチは、リモート側の選択スイッチが押されてシステムがオートモードになった時に、はじめて有効になります。

LED 表示

CE680/CE690 は、ローカルとリモートの各ユニットのフロントパネルに LED が付いています。この LED では、下表のように動作状況を示します。

CE680L/CE690L (ローカルユニット)

LED	動作状況
ローカル(グリーン)	ローカル側のコンソールが有効である場合に点灯します(リモート LED は消灯)。 ◆ ホットキーセッティングモード(p.27 参照)の場合にも点灯します。このとき、リモートコンソールのキーボードとマウスは無効です。 ◆ ホットキーが 5 秒以上検出されないと、機器はオートの操作モードになり、(点灯中の)LED は消灯します。 リモート側のコンソールが有効になっている場合は消灯します(このとき、リモート LED は点灯)。 操作モードがオートの場合は点滅します。
リモート(グリーン)	リモート側のコンソールが有効である場合に点灯します(ローカル LED は消灯)。 ローカル側のコンソールが有効になっている場合は消灯します(このとき、ローカル LED は点灯)。 操作モードがオートの場合は点滅します。

CE680R/CE690R (リモートユニット)

LED	動作状況
リンク(グリーン)	点灯中は、ローカルユニットへの接続がアクティブであることを示します。 ローカルユニットへの接続に問題がある場合は点滅し、リモート LED は消灯します。
リモート(グリーン)	点灯中は、リモートコンソールがアクティブであることを示します。 ローカル側のコンソールがアクティブになると消灯します。 操作モードがオートの場合は点滅します。

ファームウェアアップグレード

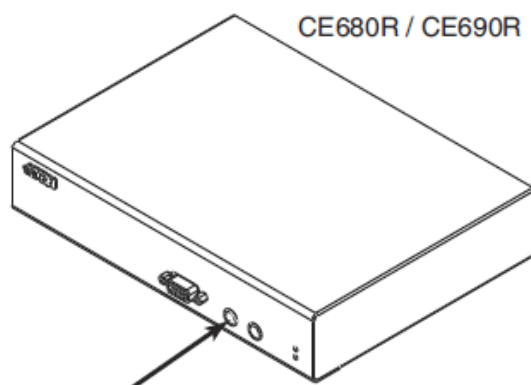
ファームウェアアップグレードの作業手順については第5章の「ファームウェアアップグレードユーティリティ」をご参照ください。手順の概要は下記のとおりです。

1. ローカルユニットまたはリモートユニットの操作モードプッシュボタンを長押しし、ファームウェアアップグレードモードにしてください。
2. ローカル/リモートユニットの RS-232 ポートにコンピューターを接続してください。
3. ATEN のファームウェアアップグレードユーティリティを使ってファームウェアをアップグレードしてください。

注意: これらの作業はローカルとリモートの各ユニットに対して行ってください(p.34「シングルユニットモード」参照)。両方のユニットを同時にアップグレードする場合は、p.38「ローカル/リモートモード」を参照してください。

PC の起動

リモートコンソールからローカル側のコンピューターを起動したい場合は、CE680R/CE690R のフロントパネルにある PC 起動ボタンを使用してください。



このコマンドを機能させるために、ローカル側のコンピューターが RS-232 ケーブルで CE680L/CE690L に接続されていることを確認してください。

注意: コンピューターの BIOS が RS-232 による起動機能に対応していなければなりません。

ホットキーセッティングモード

アドミニストレーターやユーザーは、ホットキーの組み合わせで光ファイバーKVM エクステンダーの動作環境における各種パラメーターを設定することができます。各操作を行う前には、必ずこのホットキーセッティングモードを起動します。

ホットキーセッティングモードの起動

ホットキーセッティングモード(CE680L/CE690L のみ)を起動するには、下記の手順に従ってください。

[Ctrl]キーと[F12]キーの組み合わせを使用する場合

1. [Ctrl]キーを押したままにしてください。
2. [F12]キーを押して指を離してください。
3. [Ctrl]キーから指を離してください。

このキー操作は、本文中で[Ctrl]+[F12]と表記します。

[Num Lock]キーと-マイナスキーの組み合わせを使用する場合

1. [Num Lock]キーを押したままにしてください。
2. [-]キー(マイナスキー)を押して指を離してください。
3. [Num Lock]キーから指を離してください。

このキー操作は、本文中で[Num Lock]+[-]と表記します。

注意: ホットキーセッティングモードを起動するこれらのキーに関する詳細は、p.28「ホットキーセッティングモードの代替起動キー」をご参照ください。

ホットキーモード有効中の動作

- ◆ ホットキーセッティングモードが有効になると、キーボードの「Caps Lock」と「Scroll Lock」の各LEDが交互に点滅します。ホットキーセッティングモードを終了すると、LEDは点滅をやめ、通常の状態に戻ります。
- ◆ 画面にコマンドラインが表示されます。コマンドラインは青い背景に黄色い文字で「Hotkey:」と出力されます。入力したホットキーの情報はコマンドラインに表示されます。
- ◆ 通常のキーボード・マウスの機能は一時停止され、ホットキーに関連したキー入力とマウスクリック(後述のセクションで説明)だけが有効になります。
- ◆ ホットキーセッティングモードは、コマンドを入力後に自動的に解除されるものと、手動で解除するものがあります。手動でホットキーセッティングモードを解除する場合は、[Esc]キーかスペースキーを入力してください。

ホットキーセッティングモードの代替起動キー

デフォルトのホットキーセッティングモード起動キー入力がコンピューターで実行中の他のアプリケーションと競合を起こす場合にそなえ、ホットキーセッティングモードの代替起動キーを提供しています。

代替の起動キーに切り替える場合は、以下の操作を行ってください。

1. ホットキーセッティングモードを有効にします(p.27 参照)。
2. [H]キーを入力します。

この操作によって、ホットキーセッティングモードで使用する[Ctrl]キーが[Num Lock]キーに、[F12]キーが[-]キーに変更されます。

注意: この操作は[Num Lock]+[-]、[Ctrl]+[F12]の組み合わせを交互に切り替えて設定します。デフォルトの[Ctrl]+[F12]に戻す場合は、もう一度ホットキー設定モードを起動して[H] キーを入力してください。

キーボード操作プラットフォーム

CE680/CE690 は、デフォルトで PC 互換のキーボード操作プラットフォームに設定されています。お使いのシステムで Mac や Sun のコンピューターを接続している場合は、次の手順にしたがって、キーボード操作プラットフォームを変更することができます。

1. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.27 参照)。
2. 適切なファンクションキーを押して指を離してください(下表参照)。

キー	機能
[F1]	現在 KVM を使用中のポートに対して、PC 互換のキーボード操作プラットフォームに設定します。
[F2]	Mac キーボードエミュレーションを有効にします。
[F3]	Sun キーボードエミュレーションを有効にします。

-
- 注意:**
1. キーの前後にあるカッコ ([や]) は使用するキーを示すためのものです。実際に操作する際にはこれらのキーを押す必要はありませんので、単純に該当するキーを押してください。
 2. 設定が完了すると、ホットキーセッティングモードを自動的に終了します。
-

ホットキーセッティングモード一覧表

ホットキーセッティングモード(p.27 参照)を起動した後、下記のキーのいずれかを入力して、そのキーに対応した機能を実行してください。


ホットキー	機能
[H]	ホットキーセッティングモードの起動キーを、デフォルト ([Ctrl]+[F12])と代替 ([NumLock]+[-]) で交互に切り替えます。
[F1]	現在 KVM を使用中のポートに対して、PC 互換のキーボード操作プラットフォームに設定します。
[F2]	現在 KVM を使用中のポートに対して、Mac 互換のキーボード操作プラットフォームに設定します。
[F3]	現在 KVM を使用中のポートに対して、Sun キーボード操作プラットフォームに設定します。
[F4]	KVM の現在の設定をテキストエディターまたはワープロソフトのペースト機能を使用して出力し、ホットキーセッティングモードを終了します。
[Esc]またはスペースキー	ホットキーセッティングモードを終了します。

注意: キーの前後にあるカッコ ([や]) は使用するキーを示すためのものです。実際に操作する際にはこれらのキーを押す必要はありませんので、単純に該当するキーを押してください。

第4章 キーボードエミュレーション

Mac キーボード



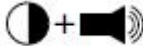




キーマッピングのエミュレーション機能により、PC 互換(101/104 キー)キーボードは Mac キーボードのファンクションキーを使用することができます。エミュレーションマッピングは下表をご参照ください。

PC 互換キーボード	Mac キーボード
[Shift]	Shift
[Ctrl]	Ctrl
	
[Ctrl] [1]	
[Ctrl] [2]	
[Ctrl] [3]	
[Ctrl] [4]	
[Alt]	左 Alt/Option
[Print Screen]	F13
[Scroll Lock]	F14
	=
[Enter]	Return
[Backspace]	Delete
[Insert]	Help
[Ctrl] 	F15

注意: 上記の組み合わせでキーを入力する場合には、最初に入力するキー ([Ctrl]キー) を離してから、次のキーを入力するようにしてください。

Sun キーボード

[Ctrl]キーとほかのキーを組み合わせて入力することで、PC 互換(101/104 キー)キーボードからキーマッピングのエミュレーション機能を利用して Sun のキーボードのファンクションキーを使用することができます。該当する機能については下表をご参照ください。

PC 互換キーボード	Sun キーボード
[Ctrl] [T]	Stop
[Ctrl] [F2]	Again
[Ctrl] [F3]	Props
[Ctrl] [F4]	Undo
[Ctrl] [F5]	Front
[Ctrl] [F6]	Copy
[Ctrl] [F7]	Open
[Ctrl] [F8]	Paste
[Ctrl] [F9]	Find
[Ctrl] [F10]	Cut
[Ctrl] [1]	
[Ctrl] [2]	
[Ctrl] [3]	
[Ctrl] [4]	
[Ctrl] [H]	Help
	Compose
	

注意: 上記の組み合わせでキーを入力する場合には、最初に入力するキー ([Ctrl]キー) を離してから、次のキーを入力するようにしてください。

第7章

ファームウェアアップグレード ユーティリティ

はじめに

Window ベースのファームウェアアップグレードユーティリティ（ファイル名：CE680_CE690_Vx.x.xxx.exe）を使用して、製品のファームウェアを自動的にアップグレードさせることができます。

アップグレードのプログラムは各デバイスに対する個別のファームウェアアップグレードパッケージの一部として提供されています。最新ファームウェアがリリースされると、弊社の Web サイトにファームウェアアップグレードパッケージとして公開されます。弊社 Web サイトにて、最新のファームウェアや関連情報を定期的にご確認ください。<http://www.atenjapan.jp/>

アップグレード方法

CE680/CE690 のファームウェアは次の 2 種類の方法でアップグレードすることができます。

- ◆ **シングルユニットモード** - CE680L/CE690L (ローカルユニット) または CE680R/CE690R (リモートユニット) を個別にアップグレードします。
- ◆ **ローカル/リモートモード** - ローカルユニット (CE680L/CE690L) とリモートユニット (CE680R/CE690R) を同時にアップグレードします。

これらのファームウェアアップグレード方法については、次のセクションで説明します。

作業をはじめる前に

CE680L/CE690L または CE680R/CE690R に接続されているコンピューターから、インターネット上にある弊社のサポートサイトに接続し、ファームウェアアップグレードパッケージのリストから、お使いの機器の型番(CE680/CE690)を選択してください。

インストールするファームウェアアップグレードパッケージ(通常は最新版)を選択したら、このファイルをお使いのコンピューターにダウンロードしてください。

シングルユニットモード

ファームウェアアップグレードの準備を行うには、次の手順で作業を行ってください。

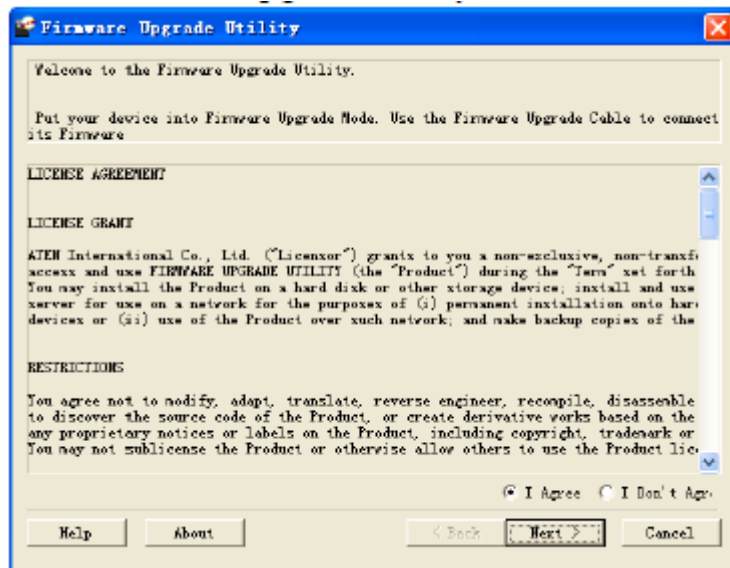
1. CE680L/CE690L または CE680R/CE690R の電源を OFF にし、電源アダプターを抜いてください。
2. CE680L/CE690L または CE680R/CE690R のフロントパネルにある**操作モード**プッシュボタンを長押ししてください。このボタンを押したまま電源を入れると、ローカル/リモートユニットはファームウェアアップグレードで動作します。
3. 電源アダプターを接続し、CE680L/CE690L または CE680R/CE690R に電源を入れてください。このとき、LED が点滅しはじめたことを確認してください。
4. RS-232 シリアルケーブルで、お使いのコンピューターの COM ポートと CE680L/CE690L または CE680R/CE690R の **RS-232** ポートを接続してください。

注意: RS-232 シリアルケーブルは本製品に付属していないため、別途ご用意ください。

アップグレードの開始

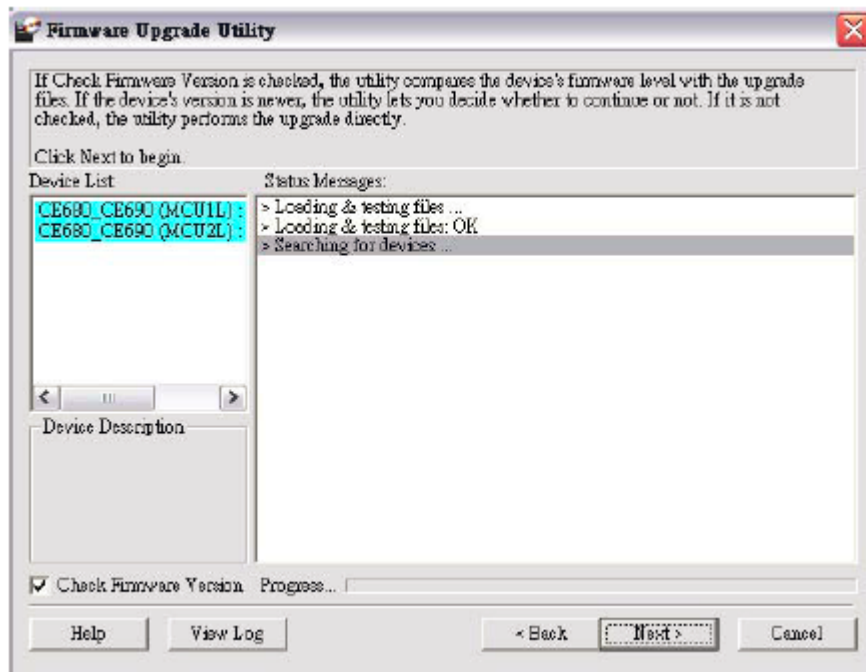
ファームウェアのアップグレードは、次の手順にしたがって行ってください。

1. ダウンロードしたファームウェアアップグレードパッケージファイル (CE680_CE690_Vx.x.xxx.exe) のアイコンをダブルクリックするか、このファイルのフルパスをコマンドラインに指定するかして、ファームウェアアップグレードパッケージを実行してください。「Firmware Upgrade Utility」の初期画面が表示されます。



注意: 本セクションで使用されている画面はローカルユニット(CE680L)のもので、あくまで参考用です。実際の「ファームウェアアップグレードユーティリティ」の画面上の言葉やレイアウトはマニュアルの図とは多少異なることがあります。

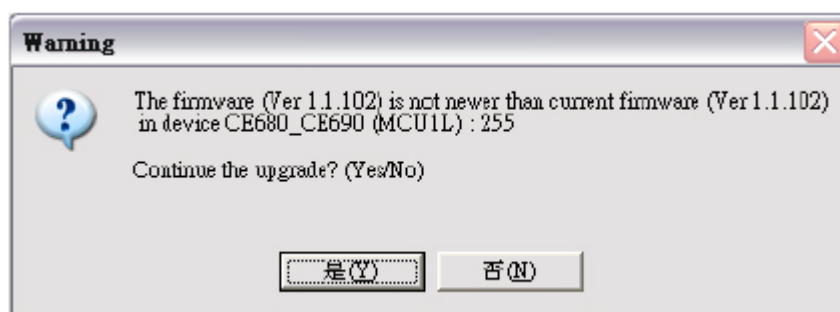
2. ライセンス使用許諾契約を確認し、同意する場合は「I Agree」ボタンを有効にしてください。
3. 「Next」ボタンをクリックしてください。ファームウェアアップグレードユーティリティのメイン画面が表示されます。



ユーティリティは、お使いのシステムを精査します。ローカル/リモートユニットが「**Device List**」(デバイスリスト)パネルに表示され、アップグレードされるユニットが自動的に選択された状態になります。

4. 「**Next**」をクリックしてアップグレードを実行してください。

「**Check Firmware Version**」を選択すると、ユーティリティはデバイスのファームウェアとアップグレードファイルのバージョンを比較します。デバイスのファームウェアのバージョンがアップグレードファイルのバージョンよりも新しければ、ダイアログボックスにその旨が表示されるので、このままアップグレードを続けるか、キャンセルするかを選択してください。



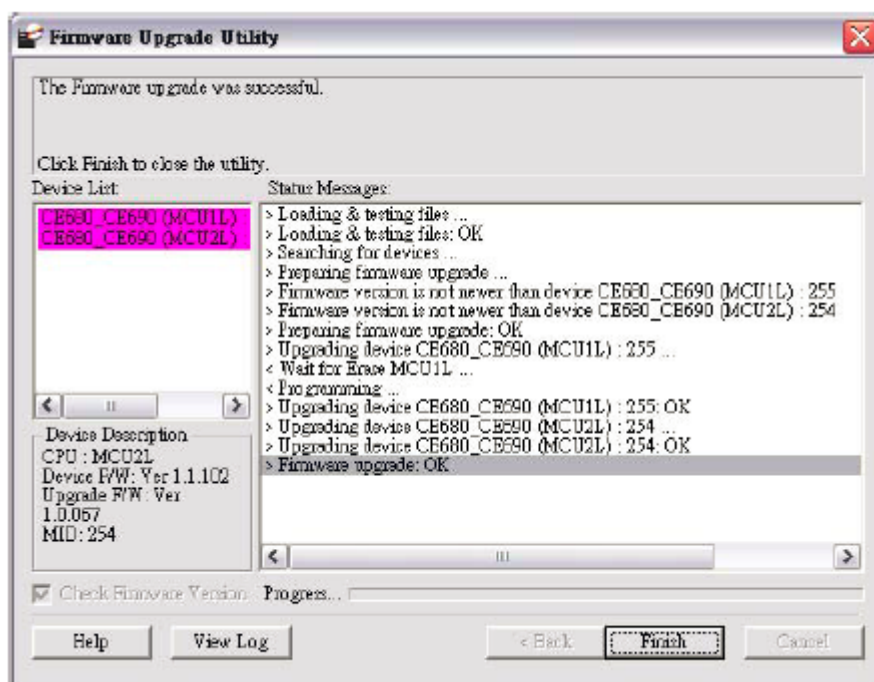
「**Check Firmware Version**」を有効にしなかった場合、ユーティリティはデバイスのファームウェアとアップグレードファイルのバージョンを比較せずにそのままインストールします。アップグレードの進行状況は「**Status Message Panel**」に表示され、また、進捗状況は「**プログレスバー**」に表示されます。「**Device List**」パネルに表示されたデバイス名の強調表示/色は、次

の条件で変わります。

- ◆ グリーン - デバイスはアップグレードの準備中です。
- ◆ ブルー - ファームウェアアップグレードが進行中です。
- ◆ マゼンタ - ファームウェアアップグレードに成功しました。

アップグレードの成功

アップグレードが完了すると、アップグレードが成功したことを表す画面が表示されます。

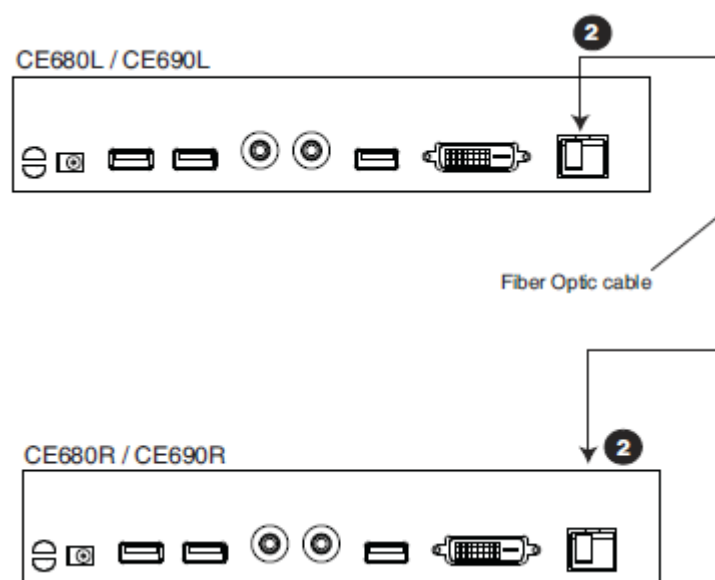


「Finish」をクリックして、「ファームウェアアップグレードユーティリティ」を終了してください。

ローカル/リモートモード

ローカル/リモートの両方のユニットを同時にアップグレードする場合は、次の手順にしたがって準備を行ってください。

1. CE680L/CE690L および CE680R/CE690R の両方のユニットの電源を OFF にし、電源アダプターも抜いてください。
2. 両方のユニットが CE680L/CE690L の光入力/出力ポートを介して光ファイバーケーブルで接続されていることを確認してください。



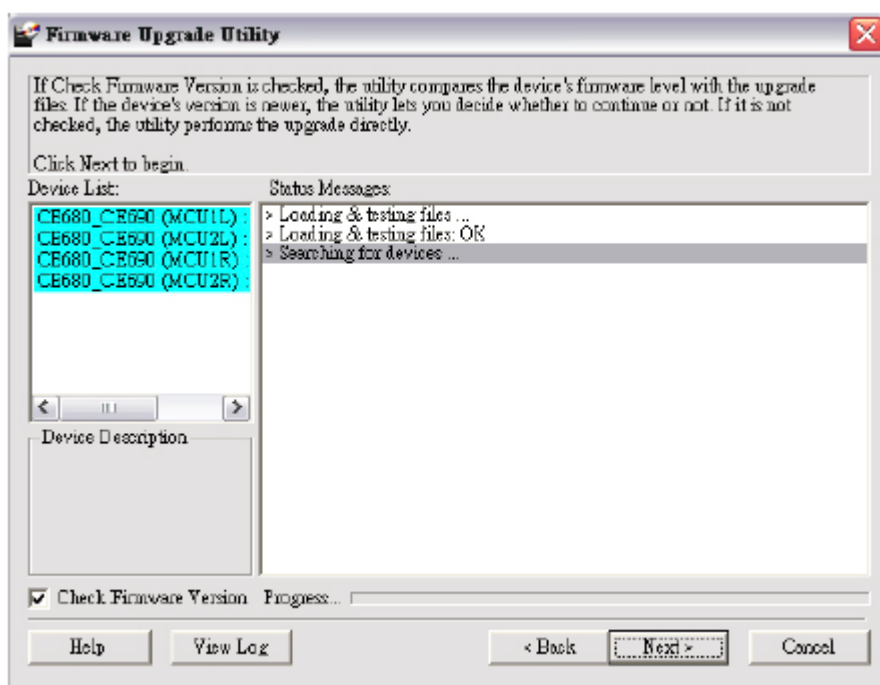
3. 電源アダプターを接続し、CE680R/CE690R に電源を入れてください。
4. CE680L/CE690L の**操作モード**プッシュボタンを長押ししてください。このボタンを押したまま電源を入れると、ローカル/リモートユニットはファームウェアアップグレードで動作します。このとき、ローカルとリモートの両方のユニットで LED が点滅しはじめたことを確認してください。
5. RS-232 シリアルケーブルで、お使いのコンピューターの COM ポートと CE680L/CE690L の RS-232 ポートを接続してください。

注意: RS-232 シリアルケーブルは本製品に付属していないため、別途ご用意ください。

アップグレードの開始

ファームウェアのアップグレードは、次の手順にしたがって行ってください。

1. ダウンロードしたファームウェアアップグレードパッケージファイル (CE680_CE690_Vx.x.xxx.exe) のアイコンをダブルクリックするか、このファイルのフルパスをコマンドラインに指定するかして、ファームウェアアップグレードパッケージを実行してください。「Firmware Upgrade Utility」の初期画面が表示されます。
2. ライセンス使用許諾契約を確認し、同意する場合は「I Agree」ボタンを有効にしてください。
3. 「Next」ボタンをクリックしてください。ファームウェアアップグレードユーティリティーのメイン画面が表示されます。



ユーティリティーは、お使いのシステムを精査します。ローカル/リモートユニットが「Device List」(デバイスリスト)パネルに表示され、アップグレードされるユニットが自動的に選択された状態になります。

-
- 注意:**
1. ユニートを個別にアップグレードしたい場合はローカルとリモートのユニットを個別に選択することもできます。また、両方のデバイスを同時にアップグレードすることも可能です。
 2. 本セクションで使用されている画面は CE680L/CE680R のもので、あくまで参考用です。実際の「ファームウェアアップグレードユーティリティー」の画面上の言葉やレイアウトはマニュアルの図とは多少異なることがあります。
-

4. 「Next」をクリックしてアップグレードを実行してください。

「Check Firmware Version」を選択すると、ユーティリティーはデバイスのファームウェアとアップグレードファイルのバージョンを比較します。デバイスのファームウェアのバージョンがアップグレードファイルのバージョンよりも新しければ、ダイアログボックスにその旨が表示されるので、このままアップグレードを続けるか、キャンセルするかを選択してください。

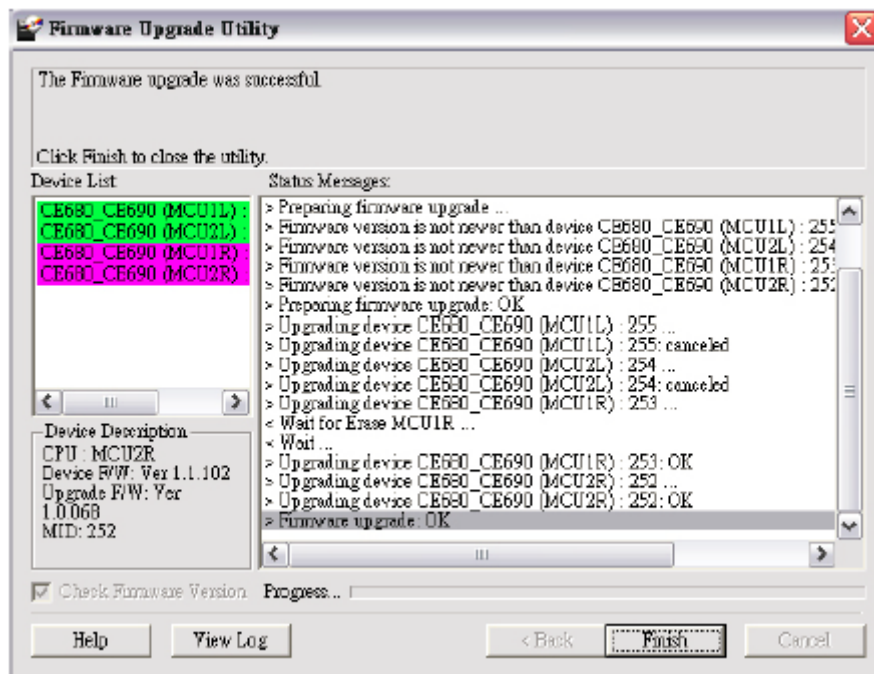
「Check Firmware Version」を有効にしなかった場合、ユーティリティーはデバイスのファームウェアとアップグレードファイルのバージョンを比較せずにそのままインストールします。

アップグレードの進行状況は「Status Message Panel」に表示され、また、進捗状況は「プログレスバー」に表示されます。「Device List」パネルに表示されたデバイス名の強調表示/色は、次の条件で変わります。

- ◆ グリーン - デバイスはアップグレードの準備中です。
- ◆ ブルー - ファームウェアアップグレードが進行中です。
- ◆ マゼンタ - ファームウェアアップグレードに成功しました。

アップグレード成功

アップグレードが正常に完了すると、処理に成功したことを表す画面が表示されます。



「Finish」をクリックして、ファームウェアアップグレードユーティリティーを終了してください。

アップグレード失敗

シングルユニットモードで「アップグレード成功」の画面が表示されない場合、アップグレードに失敗したことを意味します。アップグレードの手順を最初からやり直してください。

ローカル/リモートアップグレードモード(両方のユニットを同時にアップグレード)でアップグレードに失敗した場合は、シングルユニットモードに切り替えてアップグレードを再度行ってください。

付録

製品仕様

機能		CE680		CE690L	
		CE680L (ローカル)	CE680R (リモート)	CE690L (ローカル)	CE690R (リモート)
コンピューター接続数		1	-	1	-
コンソール接続数		1	1	1	1
コンピューター側 対応 インターフェース	キーボード	USB	-	USB	-
	マウス				
コンソール側 対応 インターフェース	キーボード	USB	USB	USB	USB
	マウス				
コンピューター側 コネクタ	キーボード	USB タイプ B	-	USB タイプ B	-
	マウス	メス×1	-	メス×1	-
	モニター	DVI-D メス×1	-	DVI-D メス×1	-
	スピーカー	ミニオーディオ オジャック×1	-	ミニオーディオ オジャック×1	-
	マイク	ミニオーディオ オジャック×1	-	ミニオーディオ オジャック×1	-
	タッチパネル	USB タイプ B メス×1	-	USB タイプ B メス×1	-

(表は次のページに続きます)

機能		CE680		CE690L	
		CE680L (ローカル)	CE680R (リモート)	CE690L (ローカル)	CE690R (リモート)
コンソール側 コネクタ	キーボード	USB タイプ A メス×1		USB タイプ A メス×1	
	マウス	USB タイプ A メス×1		USB タイプ A メス×1	
	モニター	DVI-D メス×1		DVI-D メス×1	
	スピーカー	ミニオーディオジャック×1		ミニオーディオジャック×1	
	マイク	ミニオーディオジャック×1		ミニオーディオジャック×1	
	タッチパネル	USB タイプ A メス×1		USB タイプ A メス×1	
電源ジャック		DC 電源ジャック×1		DC 電源ジャック×1	
ユニット間接続 (光ファイバー入力/出力)		双方向性 SFP(LC)×1		双方向性 SFP(LC)×1	
RS-232 ポート		DB9 ピン メス×1	DB9 ピン オス×1	DB9 ピン メス×1	DB9 ピン オス×1
LED	ローカル	グリーン×1	-	グリーン×1	-
	リモート	グリーン×1	グリーン×1	グリーン×1	グリーン×1
	リンク	-	グリーン×1	-	グリーン×1
スイッチ	操作モード	プッシュボタン×1		プッシュボタン×1	
	ウェイクアップ PC	-	プッシュ ボタン×1	-	プッシュ ボタン×1
光ファイバー	操作距離*	600m(シングルモード ファイバー使用)		20km(シングルモード ファイバー使用)	
	波長 (シングルモード 光ファイバー 使用時)	送信: 1310nm 受信: 1550nm	送信: 1550nm 受信: 1310nm	送信: 1310nm 受信: 1550nm	送信: 1550nm 受信: 1310nm
	データレート	3.125G bps (シングルモードファイバー)		3.125G bps (シングルモードファイバー)	
	キーボード・マウスエミュレーション	USB		USB	
電源仕様(アダプター)		型番:0AD8-0605-24EG 入力:AC100~240V 50~60Hz 出力:DC5.3V 2.4A		型番:0AD8-0605-24EG 入力:AC100~240V 50~60Hz 出力:DC5.3V 2.4A	

(表は次のページに続きます)

機能	CE680		CE690L	
	CE680L (ローカル)	CE680R (リモート)	CE690L (ローカル)	CE690R (リモート)
消費電力	10.2W	9W	10.2W	9W
最大延長距離	600m		20km	
解像度	1,920×1,200@60Hz (600m)		1,920×1,200@60Hz (20km)	
動作環境	動作温度	0～50℃		0～50℃
	保管温度	-20～60℃		-20～60℃
	湿度	0～80%RH、結露なきこと		0～80%RH、結露なきこと
ケース材料	メタル		メタル	
重量	1.1kg	1.08kg	1.1kg	1.08kg
サイズ(W×D×H)	215×163×42 mm		215×163×42 mm	
同梱品	2L-7D02U(1.8m)ケーブル×1 USB ケーブル(1.8m)×1 電源アダプター×2 ラックマウントキット×1 クイックスタートガイド×1		2L-7D02U(1.8m)ケーブル×1 USB ケーブル(1.8m)×1 電源アダプター×2 ラックマウントキット×1 クイックスタートガイド×1	

*操作距離は概算値です。この標準的な最大延長距離は、ファイバーの種類、バンド幅、コネクタの接合具合、信号のロス、モード/波長分散や環境要因などによって変化します。